

第16回 日本心不全学会学術集会

The 16th Annual Scientific Meeting of the Japanese Heart Failure Society

ご挨拶 >

プログラム >

日程表 >

演題募集 >

参加者へのご案内 >

会場のご案内 >

宿泊のご案内 >

リンク >

お問い合わせ >

Home >

ICD/CRT
合同研修セミナー >

第37回
日本心臓移植研究会
学術集会

市民公開講座

▶ プログラム・抄録集
事前購入申込書

懇親会のご案内



第16回

日本心不全学会学術集会

The 16th Annual Scientific Meeting of the Japanese Heart Failure Society

東日本大震災からの復興をめざして
心不全パンデミックにいかに対処するか

会長 下川 宏明

東北大学大学院医学系研究科循環器内科学教授

会期 2012年11月30日[金]～12月2日[日]

会場 仙台国際センター

第16回日本心不全学会学術集会は、予想を上回る多数の皆様にご参加いただき、盛会のうちに終了することができました。皆様方のご協力とご支援に心より御礼申し上げます。

第17回の学術集会は、自治医科大学附属さいたま医療センター センター長 百村 伸一先生が会長を務め、平成25年11月28日(木)～30日(土)に大宮ソニックシティにて開催します。

ご挨拶



下川 宏明

東北大学大学院医学系研究科循環器内科学教授

第16回日本心不全学会学術集会(2012)を担当させていただくに当たり、ご挨拶をさせていただきます。

わが国は、急速な高齢化と生活の欧米化により、心臓病が増加しています。心不全はあらゆる心臓病の末期像であり、現在、心不全患者の急増が、あまり社会に認識されず、また、医療関係者にさえその認識が十分ではないまま、進行している現状があります。

例えば、宮城県では、宮城県心筋梗塞対策協議会の活動の一環として、全県下で発生する急性心筋梗塞症例をほぼ全例前向きに登録する事業を30年以上にわたって行ってきましたが、急性心筋梗塞の発生率(年齢補正後)は、この30年間で約3.5倍に増加しています。一方、医療の進歩により、院内死亡率は、男性が約20%から約5%へ、女性が約25%から約10%と大幅に低下しています。この結果、虚血性の慢性心不全患者が激増していることが、我々の東北慢性心不全協議会の登録研究でも明らかにされています。したがって、学術集会の会長に指名していただいた時、学術集会のメインテーマとして、迷わず、「心不全」インデミックいかに対処するか」に決めて、そのテーマに沿ったプログラム内容を考えておりました。

その矢先、東日本大震災が発生しました。被災地の中心になった東北大学病院の私達も全力で医療復興に当たりましたが、そこで目にしたものは、心不全患者の明らかな増加でした。この傾向は、第15回日本心不全学会学術集会(2011)の鄭会長が企画していただいた緊急シンポジウムでも討議し、岩手県・福島県でも共通して認められる増加があることが確認されました。大震災における心血管病の増加は、急性心筋梗塞・肺塞栓症・タコツボ心筋症・重症不整脈などが報告されていますが、心不全の増加はこれまで報告がありません。今回の東日本大震災で心不全が増加した原因を明らかにすることは、今後の災害医療にも大きく貢献する重要なテーマだと思います。そこで、学会としての復興の意味も込めて、メインテーマを「東日本大震災からの復興をめざして」に変更し、「心不全」インデミックいかに対処するか」をサブテーマとさせていただきました。

東日本大震災により心不全が増加している現状を被災地で目の当たりにしている自分が、今回の日本心不全学会学術集会を担当させていただくことに、何かしらの縁を感じております。

わが国における心不全医療・医学の現状と今後の展開について、会員の皆様に満足していただける内容にしたいと思っております。多数の皆様が仙台にお越しいただき、復興を手助けいただけることを願っております。どうぞ、宜しくお願い申し上げます。

市民公開講座

『長寿のための心不全の知識』

会 期：2012年12月2日（日）14：00～16：10

会 場：仙台国際センター大ホール（〒980-0856 仙台市青葉区青葉山無番地）

プログラム：

14：00～14：05	開催の挨拶 下川 宏明（東北大学大学院医学系研究科循環器内科学）
14：05～14：35	基調講演『やさしい心不全のはなし』 座長：久保田 功（山形大学医学部 内科学第一講座） 演者：伊藤 宏（秋田大学大学院医学系研究科 循環器内科学・呼吸器内科学）
14：35～14：55	講演1『東日本大震災における心不全の増加』 座長：竹石 恭知（福島県立医科大学 循環器・血液内科学講座） 演者：福本 義弘（東北大学大学院医学系研究科循環器内科学）
14：55～15：15	講演2『現役時代の話と健康管理について』 司会：下川 宏明（東北大学大学院医学系研究科循環器内科学） 演者：板東 英二（タレント・元プロ野球選手）
15：15～15：25	休憩
15：25～16：05	パネルディスカッション 司会：下川 宏明（東北大学大学院医学系研究科循環器内科学） 演者：板東 英二（タレント・元プロ野球選手） 久保田 功（山形大学医学部 内科学第一講座） 伊藤 宏（秋田大学大学院医学系研究科 循環器内科学・呼吸器内科学） 竹石 恭知（福島県立医科大学 循環器・血液内科学講座） 福本 義弘（東北大学大学院医学系研究科循環器内科学）
16：05～16：10	閉会の挨拶 下川 宏明（東北大学大学院医学系研究科循環器内科学）

対 象：一般市民

参加申込：事前申込み

参加費：無料

共 催：第一三共株式会社

後 援：社団法人 東北大学医師会

社団法人 宮城県医師会

社団法人 仙台市医師会

社団法人 宮城県薬剤師会

一般社団法人 宮城県理学療法士会

社団法人 宮城県看護協会

一般社団法人 宮城県臨床工学技士会

当科の下川教授が会長を務め、第16回日本心不全学会学術集会（11月30日～12月2日、仙台国際センター）を開催しました。

今回の学術集会のテーマは、「東日本大震災からの復興をめざして 一心不全パンデミックにいかに対処するかー」でした。過去最多の421演題が発表され、過去最高の1423名の参加者がありました。急増する心不全に関して最新の知見が報告され、活発に意見が交換されました。

>> 当科からの発表演題はこちらからご覧いただけます。



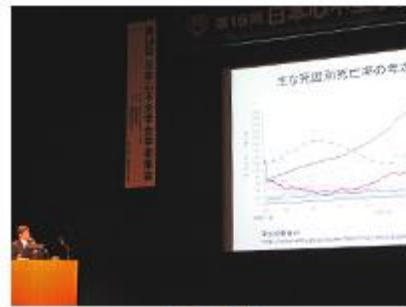
仙台国際センター



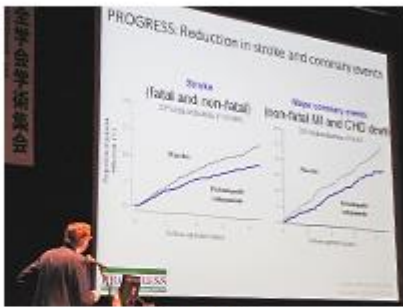
会長挨拶



特別企画「大震災と心不全」



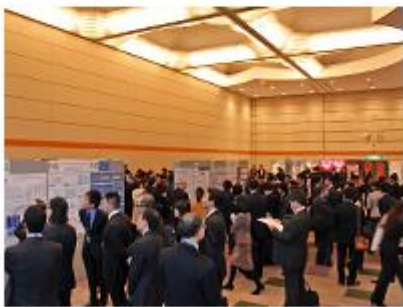
会長講演



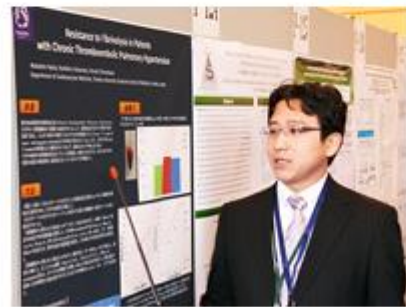
特別講演



教育講演



企業ブース・ポスター会場



ポスター発表